

# 私の思い出



八方 丸山 敏夫

小さな丸太橋を渡り、西山通いをしたもので怖かった事を覚えています。

リーゼンスラロームコースは、福岡孝行先生と地元住民の手作りのスキー場です。

スキー場の刈払いは本当に重労働でした。動力の草刈機が出てきたのはずっと後の事で、大鎌と手鋸で広大なゲレンデを整備したのです。細野

に七組、四ツ家に三組の十組で咲花、リーゼン、名木山のゲレンデを組み割りし、延べで七日間位の作業でした。朝八

時頃から始めて、時には手元が見えなくなる時間までかかる事もありました。兎平は白馬観光開発の分担で、明大、早

大、日大、白馬高などのスキー部員の仕事でした。彼等はその代償として、冬のリフト無料乗車を認められておりまし

た。鎌や鋸は少し使うと切れなくなり、砥石と目立ヤスリは常に持参し、休憩時間には研がなければ、作業がはかど

らないので、不器用な私には休む暇も惜しい労働奉仕でした。いま思えば良く働いたも

のですが、当時は当たり前前の事で、隣近所を含め地域全体の暮らしの一部だったので、何の疑問も持たずひたすら大鎌を振るう動作の繰返しでした。

後に草刈機が登場し、作業は嘘のように楽になりました。ゲレンデも補助金を受けて牧野改良し、牛を入れると、刈払い範囲が半減し苦労は昔話になってしまいました。

リーゼン大会は区民総出のお祭り行事でした。ゴールは、通称「ウジガミ」で父ちゃん母ちゃん達が赤飯を炊き、ご馳走を作ってゴールの周りに陣取り、出場したお客様や地元選手を応援し、劳らいました。大会の数日前から皆でスコップを手し、コースのコブ削りや、雪の少ない部分への雪やといった大変な作業でした。もっと大変だったのは選手です。雪上車がなかった時代なので、信じられない事ですが自分達で踏み固めて登りながら、コースをならした時代でした。

後期高齢者と呼ばれる年齢になり、昔話をする事が無くなりましたが、住民手作りの八方尾根スキー場は私達年代の生立ちの軌跡です。

(訂正) 89頁の「私の思い出」の中で、「昭和19年12月8日」とあるのは「昭和16年12月8日」です。お詫言申し上げます。

平成24年 第1回

## 白馬村議会臨時会

平成24年4月4日 開催

### B&Gプール工事請負契約の締結について

#### ●工事請負契約の締結について

##### ▽契約の目的

平成24年度 B & G海洋センタープール改修工事

##### ▽契約金額

7875万円

##### ▽契約の相手方

長野県北安曇郡白馬村大字北城12815番地  
株式会社 山田工務店  
代表取締役 山田 福市郎

#### ○ 臨時議会 議決結果 ○

種別	議案番号	件名	議決結果
契約	議案第28号	工事請負契約の締結について	可決 (賛成全員)